

被災した古い建築物のアスベストにご注意ください。

建築年代の古い鉄骨又は鉄筋コンクリート建築物は、アスベスト含有建材を使用している可能性があり、倒壊等した場合、アスベスト含有建材の露出等により、アスベストが飛散する可能性があります。

なお、木造建築物は、飛散性アスベストを使用している可能性は低いです。

1 アスベストに注意が必要な建築物

- 鉄骨造又は鉄筋コンクリート造の建築物では、柱や梁等に吹付けアスベスト等が使用されている可能性があります。
- 配管等にも、断熱材や保温材として、アスベストを含有するものが使用されていることがあります。
- スレート等にも、アスベストが含まれている可能性があります。

【アスベスト含有建材の例】



2 アスベストのばく露防止の対策方法

- むやみに建築物の除去等作業現場に近づかない。
- 散水等を行い、飛散を防止する。
- スレート等については、破砕、切断等の粉じんが発生する作業は極力避けて、やむを得ず破砕等を行う場合は、散水により粉じんの発生を防止する。
- 防じんマスク等を着用する。

ご不明な点がございましたら、お問い合わせください。

(問い合わせ先)

岡山市 環境局 環境部 環境保全課大気騒音係

TEL : 086-803-1280、FAX : 086-803-1887

E-mail : kankyouhozen@city.okayama.lg.jp